



知れば知るほど楽しくなる

2024.1

OTARU HEART JOURNAL

北海道の「心臓」と呼ばれたまち
OTARU

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

アンケート
特集号

第3号



明治末頃の中央通り 写真提供:小樽市総合博物館

日本遺産候補地域

北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

小樽市では、小樽独自の貴重な歴史文化遺産を日本遺産として登録するための取り組みを進めてきました。その結果、文化庁より「日本遺産候補地域」として認定され、現在本認定に向け取り組みを推進しています。本アンケートはその一環で、多くの市民の理解を促進するために行われます。

ストーリーの概要

かつて小林多喜二は、小樽のまちを、北海道の「心臓」と表現しました。明治以降、港と鉄道の「大動脈」により、多数の物資と人が押し寄せ、石造りの商店や大型の倉庫などを造っていきました。明治後期には、大手銀行や商社の支店が進出し、経済の「血液」、金融の力で北日本随一の商都に飛躍して栄華を極め、運河をはじめ近代的インフラが「骨格」としてまちを支えました。

昭和後期、小樽運河保存運動を経て、まちを愛する市民たちの「民の力」で、ロマン溢れる歴史的建造物とまち並みの魅力が再発見され、カフェなどの飲食店、博物館等の文化施設に活用されていきました。かつての商都から、文化と観光の「心臓」に生まれ変わった小樽は、国内外から訪れる人々を魅了し続けています。

山折り(郵送の場合)

✂キリトリ✂(郵送の場合)

84円
切手を
貼って
下さい

047-0031

小樽市色内1丁目9番6号
株式会社オー・プラン内

日本遺産磨き上げ推進事業
アンケート係 行

第3号

※無記名でも構いません。

【差出人】 ご記入日 年 月 日

ご住所 〒 ー

お名前

山折り(郵送の場合)

✂キリトリ✂(郵送の場合)



明治44年以後 鉄道と直結した高架棧橋
写真提供:小樽市総合博物館

Sub Story of Heart
「北海道の心臓」サブストーリー

～北の産業革命「炭鉄港」～ 港と鉄道の「大動脈」によるゴールドラッシュ

小樽の近代化は、鉄道と港から始まります。明治以降、政府は、北海道の資源が日本の近代化に必要な不可欠であるとして本格的な開発を始め、その拠点の小樽としました。江戸時代後期よりニシン漁場として知られていた小樽は、明治2年に商船の航行が自由になると、北前船の往来が盛んになります。「北海道の心臓」となる契機は、内陸部に産出する石炭を輸送するため、北海道初の鉄道が小樽に建設されたこと。石炭は、小樽から本州へと輸送され、近代産業の勃興に貢献しました。明治中期以降、北海道への移民が本格化すると、その人口を支える生活物資の供給基地として、小樽は大きく発展していきます。卸商や金融機関が軒を連ね、物資保管のための石造倉庫が海岸線に並び、仕事を求める人々が殺到する「ゴールドラッシュ」さながらの活況を呈します。この時期、全国で近代化の波が広がっていた中、小樽は急速な発展を遂げ、日本の近代化が凝縮したような都市となっていったのです。

山折り(郵送の場合)

日本遺産候補地域

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

構成文化財のご紹介

※アンケートの回答は裏面の「アンケート回答」にご記入ください。

昭和10年代の堺町通り
写真提供:小樽市総合博物館



色内通り・堺町通りの商店

明治30年代から大正期の商店建築14件。経済都市の心臓部であった色内通りと卸商が集まっていた堺町通りに残る商店建築で、当時の小樽の面影を残しています。

問1 この通りが観光地になる前の様子を知っていますか？



旧名取高三郎商店

〈現 ㈱ナトリ(2階)・小樽大正硝子館(1階)〉
明治39(1906)年以降建築。防火のための袖壁(うだつ)を設けており、小樽の明治後期の代表的商家建築です。

問2 堺町通り商店街に年に何回くらい行きますか？



旧岩永時計店

〈現 小樽オルゴール堂堺町店〉
明治30(1897)年代建築。屋根の装飾、半円アーチ扉、軒の線型型など、細部にもデザインが施されています。

問3 堺町通り商店街でよく行くお店はどこですか？



旧早川支店

〈現 vivre sa vie + mi-yyu〉
明治37(1904)年建築。同年の稲穂町大火で全焼後再建され、防火戸や袖壁などの防火対策がうかがわれます。

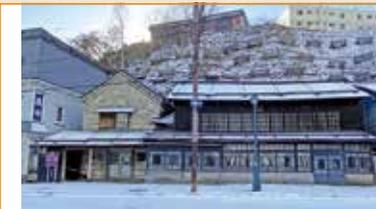
問4 堺町通り商店街に誰とよく行きますか？



旧共成(株)

〈現 小樽オルゴール堂本館〉
大正4(1915)年建築。当時の小樽では珍しい煉瓦造りで、アーチ状窓の要石や隅部のコーナーストーンなどが特徴。

問5 堺町通り商店街にあまり行かない場合、その理由は？



旧久保商店〈現 くぼ家・Mahalo〉

明治40(1907)年建築。和風商店の趣を残しながら再利用されており、堺町通りの歴史的景観を形成する主要建物に。

問6 堺町通り商店街は歴史的な街並みを活かしていると感じますか？



◆ アンケートのご記入について ◆

日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」を推進するために、本認定に向け令和3年度よりさまざまな取り組みを行なっています。小樽が持っている質の高い歴史文化情報を、市民の皆さんが深く理解し今後も大切に育み将来に残し伝えていくために、現状の認知度を知り、どのように向上させるのかを検討するためのアンケート調査です。ご理解の上、ご協力をお願いします。
アンケートの締切/令和6年1月30日 ※期日を過ぎたアンケートは次号の集計に含まれません。

《主催》小樽市日本遺産推進協議会
《連絡先》日本遺産磨き上げ推進事業 アンケート係 〒047-0031 小樽市色内1丁目9番6号
(株)オー・プラン内 TEL:0134-29-1003 FAX:0134-29-0594 MAIL:daihyo@o-plan.com



あなたが参加する
我がまちの
サブストーリー

第2号に寄せられたアンケートより

第1号には227通、第2号にも約200通の回答が寄せられています。一つひとつが大変貴重なご意見であり、「お宝エピソード」です。引き続き、皆さまからのアンケートをお待ちしています！

※文章は、原文のまま掲載しています。
個人の記憶に基づくものであり、一部史実と異なる場合があることを予めご了承ください。



●子供の頃、札幌に行く時南樽駅前で他の線路が合流する場所があって、不思議だな～あの汽車に乗ったらどこに行くんだろうと思っていました。それは就職で小樽に住んでから手宮線のことだとわかりましたが、一度も乗ることがなく廃線となってしまい、気がついたときに乗っておけばよかった～と今でも思っています。
〈小樽市若竹・50代・男性〉

●共同水栓のこと(洗濯、冬の凍ったホースをタイヤで溶かし、家に水を引き込んでいたこと)、冬場には小路の雪が多く、2階の窓から出入りしていたこと、この時代、みんなアウトドア派、陣取り合せんや缶けり、鬼ごっこ等等
〈小樽市緑・70代・男性〉

●熊碓の浜にトドが打ち上がった時、漁師さんたちが、砂浜に穴を掘って埋め、焚火をたいて供養していた。
〈小樽市築港・50代・男性〉

●現在の花銀に母の生家があり陶器店を経営していました。地下蔵もあり怖いもの見たさで入ったり、店の近辺で従姉妹達と遊んでいました。隣には来々軒があり、年に2度ほど食べたラーメンは当時かなりの贅沢だったような気がします。そのまた隣の空き地にはサーカスも来たことがあり目を輝かせた記憶が。そして今年から歴史的建造物を葉書に残しています。まだ10枚、80歳を目標に描き上げたいと思っています。
〈小樽市桜・70代・女性〉

●幼いときに母とデパートへ買い物に行きデパートの食堂やレストランで食事をするのが自分には一大イベントでした。丸井、大黒屋、ニュー銀。全てがキラキラしてとても嬉しかった。自分は高島ですが市街地に行くのを「街に行く」と言っていました。その頃高島には幼稚園がなくバスで手宮まで。運賃が五円だった記憶があります。
〈小樽市高島・60代・男性〉

小樽の価値創造を追求し 小樽への投資を呼び込み 小樽の街づくりに貢献してまいります。

株式会社 渋谷建設
〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目6-25
TEL.0134-27-6000 FAX.0134-27-6001 営業時間/9:00~18:00 定休日/土・日・祝
https://shibuya-k.co.jp



旧 第四十七銀行小樽支店
(現 株式会社渋谷建設本社)

本紙に掲載されている写真のうち、提供元が記載されていない写真については、小樽市日本遺産推進協議会または本紙編集部が所蔵写真です。

✕キリトリ✕ (郵送の場合)

アンケート回答

- 問1 この通りが観光地になる前の様子を知っていますか?
 知っている 知らない
 - 問2 堺町通り商店街に年に何回くらい行きますか?
 0~1回 2~4回 5回以上
 - 問3 堺町通り商店街でよく行くお店はどこですか?
()
 - 問4 堺町通り商店街に誰とよく行きますか?
 友人 家族 恋人(配偶者) ひとり
 その他()
 - 問5 堺町通り商店街にあまり行かない場合、その理由は?
()
 - 問6 堺町通り商店街は歴史的な街並みを活かしていると感じますか?
 感じる 感じない わからない
 - 問7 小樽には、「北海道ワイン小樽醸造所」と「OSA WINERY」の二つのワイナリーがあるのを知っていますか?
 知っている 知らない
 - 問8 あなたが知っている小樽のパン専門店の名前を一つご記入ください。
()
 - 問9 あなたがよく行く小樽の洋食屋を一つご記入ください。
()
 - 問10 本紙を読んで小樽の歴史への理解が深まりましたか?
(いずれかの番号に○印をお願いします。)
- | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 深まらなかった | どちらでもない | | | | | | | | 深まった |
- 問11 「日本遺産」という言葉を聞いたことがありましたか?
 聞いたことがある 聞いたことがない

谷折り(郵送の場合)

- 問12 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」というフレーズを聞いたことがありましたか?
 聞いたことがある 聞いたことがない
 - 問13 このロゴマークを見たことがありましたか?
 見たことがある 見たことがない
 - 問14 小樽は歴史を活かしたまちづくりをしていると思いますか?
 思う 思わない
 - 問15 あなたは小樽への愛着や誇りをお持ちですか?
(いずれかの番号に○印をお願いします。)
- | | | | | | | | | | |
|----|---------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ない | どちらでもない | | | | | | | | ある |

あなたの家や店のお宝エピソード

小樽の明治から大正・昭和にかけてのものやこと、エピソードなど、直接知っていることや、伝え聞いたことなど、些細なことでも結構ですので、教えてください。(寄せられたエピソードは今後誌面でご紹介させていただくことがあります)

↑ FAX 送信方向

《居住地》 小樽市内 小樽市外 《性別》 男 女 《年齢》 歳

✕キリトリ✕ (郵送の場合)

みんなで育てたい「小樽めし」

(左)写真提供:小樽ビール (右)写真提供:北海道ワイン(株)
(下)写真提供:田中酒造



美味しい水から生まれる地酒

小樽にはワイナリーや醸造所が多く、日本酒、ワイン、ビールなど、豊富な地酒が楽しめます。小樽のやわらかい水から、美味しい地酒が生まれています。

問7 小樽には、「北海道ワイン小樽醸造所」と「OSA WINERY(オサワイナリー)」の二つのワイナリーがあるのを知っていますか?

(上)写真提供:市立小樽文学館 (下)写真提供:塚田敏信



市民に愛され続ける味パン

老舗から近年開業の新店まで、懐かしくて飽きない定番商品や、さりげないアイデアから生まれたオリジナルパンが並ぶ小樽のパン屋。その味は、小樽市民から長く愛されて続けています。

問8 あなたが知っている小樽のパン専門店の名前を一つご記入ください。

(下)北海ホテル(創業の頃)「北海観光株式会社小史～旧北海ホテル五十年の足跡」(北海観光株式会社、1969年より)



港町小樽によく似合う洋食

港町として外に開かれた小樽は、早くから西洋料理が広まり、明治から大正にかけて洋食店やピヤホールが続々と開業。カレー、ハンバーグ、オムレツ等お馴染みのメニューが楽しめました。

問9 あなたがよく行く小樽の洋食屋を一つご記入ください。

アンケートの回答は上記の「アンケート回答」にご記入ください。



小樽食文化探訪「おいしい小樽めしをどうぞ!」

